

評価及び取組報告書

令和8年1月16日

湘南桜ヶ丘幼稚園

園長 久保田 智子

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"> 水道水を出しっぱなしにしない トイレットペーパーは必要以上に使わない 園だよりや学級通信等は、極力紙を使用せずメール配信する 紙類を分別し、資源化する マイ箸やマイボトル等を利用する 	<ul style="list-style-type: none"> 暖房は20、冷房は28を目安に温度設定する 電気製品を使わないときはコンセントからプラグをぬく 	<ul style="list-style-type: none"> 仕損じたコピー用紙の裏面を利用したり、小さく切ってメモ用紙にしたりする 画用紙の切れ端を再利用する 段ボール、新聞、広告紙等の廃材は造形遊びに利用する 物品購入時はごみが出にくいものを選ぶ(詰め替品、簡易包装品等)
独自メニュー		
<h3>1 4R(リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ)の啓発</h3> <p>園児にも分かりやすいイラストを掲示し、必要以上の水やトイレットペーパーの使用を控えるように伝えました。</p> <p>絵本「もったいないばあさん」シリーズの読み聞かせにより、子供たちは、ものを大事にする事の大切さに気づくようになりました。</p> <p>保護者に対してエコ情報だより「さくらがおか ECO キッズ」を年2回発行しました。</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="130 1478 437 1830"> </div> <div data-bbox="478 1478 952 1830"> </div> <div data-bbox="981 1478 1476 1830"> </div> </div>		
<h3>2 ダンボール、お菓子箱、新聞等の廃材を利用した製作活動</h3> <p>年長組デイキャンプ(夏期保育)のときに、みんなで遊ぶための「お菓子の家」「はらぺこあおむしの世界」「お祭り」を段ボール等の廃材を主に使用し製作しました。</p> <p>室内遊びや行事、預かり保育の場でも廃材を利用して遊びました。</p>		

【お菓子の家】



【はらぺこあおむしの世界】



【お祭り】



3 動植物の飼育・栽培活動

メダカなどの飼育活動

エコ活動の一環として、メダカを飼育しています。メダカを通じて、生命の尊さや環境保護の意識を育みます。また、餌や水の管理を通じて責任感も養われました。

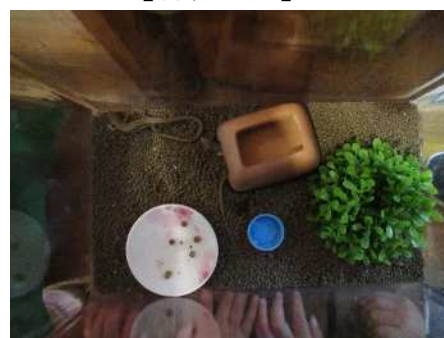
【メダカ】



【金魚】



【カナヘビ】



ミニトマトやサツマイモなどの栽培活動

園児たちは、ミニトマトやサツマイモの栽培を通じて、自然の恵みを育むプロセスを身近に体験しました。

【ミニトマトの収穫】



【おいもほり】



【聖護院ダイコンの収穫】



4 その他のエコ活動

里山体験フィールドで
自然を満喫しました！



制服のリサイクル販売を
行いました。



保護者の皆様が桜ヶ丘公園
の清掃活動をしました。



2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長 教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの 決定等について	共通メニューと独自メニューを基に、園児や教職員が実践可能な具体的な活動（例：ゴミの分別、節水、エコ工作など）を計画しました。また、保護者との連携を図るため、エコ活動の目的や意義を説明し協力を呼びかけました。
D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	計画したエコ活動を日常の保育や行事に取り入れました。年長組のデイキャンプでは、友達と協力しながら資源の大切さを学ぶことができました。また、生き物の飼育や野菜の栽培を通じて、園児たちが命や自然に対する興味を深められるよう取り組みました。
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	エコ活動の実施状況や成果を写真で記録し、クラス便りなどでメール配信しました。また、各活動を通じて園児たちが資源の大切さやエコの重要性を理解しているかを教職員で確認し、活動の振り返りを行いました。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	昨年度の活動を振り返り、園児が特に興味を示した生き物の飼育や野菜の栽培を本年度の取組にさらに活かしました。
その他	

3 1年間で振り返った感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

園児たちはエコ活動を通じて自然や資源の大切さを楽しみながら学びました。年少組では日常生活の中で環境を意識する姿が見られ、年中組では飼育・栽培を通じて命の大切さ、自然の不思議さに触れました。年長組のデイキャンプでは、創意工夫や協力の楽しさを感じ、片付けでは資源を分別する意識が育まれました。この1年で、園児たちが環境への関心を深め、大きく成長したと感じます。

4 来年度に向けて（見直し結果）

これまでのエコ活動を継続しつつ、園児がさらに興味を持てるよう工夫を加えていきたいと考えています。また、さまざまな種類の野菜づくりに挑戦し、食育の視点からも学びを深めていきます。